

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F
TEL017(752)0171 FAX017(752)0170 URL/http://aomori.doyu.jp/ E-mail/info@aomori.doyu.jp

上十三支部例会

社員共育委員会のススメ
～大丈夫、その課題、みんな抱えています～



◆報告者◆

ササキ石油販売(株)代表取締役社長
(株)想い工房 代表取締役

佐々木 佳弘 氏 (上十三支部)

(2023/6/19 参加 27名)

★★★ 感想文 ★★★

上十三支部6月例会は、社員共育委員長を務める佐々木佳弘さんの活動紹介のほか、自社での実践例についてご報告いただきました。

「教育」は既に確立されている知識や技術の伝達であるのに対し、「共育」は体験や経験による気づきではないかとの考えのもと、社員が色々な体験をすることで視点が変化し、主体的に取り組むようになり、それが適切に評価されることで成長のサイクルが生まれると教えていただきました。

また、社員と一緒に経営指針を創り上げていく過程で、それぞれのベクトルが揃うようになり、共通の目的をもった組織を形成しているとのこと、それが社員のモチベーションの向上や職場定着にもつながっているようです。

このほかにも、人事評価制度の運用方法など、他社でも応用可能な事例について発表があり、学び多き例会となりました。

記/ (福)八甲田会 常務理事 小笠原 拓司 氏

津軽支部例会

人生をかけて！
日本の田舎町再生のお手本づくり
～シャッターがおける、その前に～



◆報告者◆

地酒の駅 そうま屋米酒店
代表 相馬 康穂 氏 (津軽支部)

(大鰐まちづくり笑社株式会社 代表取締役 CEO)

(2023/6/22 参加 29名)

★★★ 感想文 ★★★

相馬さんの底知れぬ大鰐愛と地域の活性化が自分の生きる道だという信念がしっかりと伝わってきた報告でした。

特に勉強になったのは小学生の頃からふるさとを愛する教育をする「ふるさと教育」が素晴らしく、町内清掃やキッズ野菜、大鰐ふえあ販売体験、大鰐PR交流パーティーに参加し、各企業の方や著名人との名刺交換をし、大鰐を代表して交流することなどの取り組みの報告を通じて、地域を活性化させるには小さな頃からの教育も大事なのだと感じました。中でもネガティブワードを絶対に言わないという取り組みは素晴らしいと思いました。

最後の質問の時に「世界に羽ばたく」をモットーに、若者の大鰐への定着はこだわってはなく、大鰐出身として世界で活躍し、羽ばたいてほしいという壮大なスケールの思いもさすが相馬さんだなぁと思いました。

今回の例会に参加してみて、自分の地域のためにも、会社のためにも多くのことを学ばせていただき、とても感謝しております。

記/ (株)大平ファーム 代表取締役 大平 裕和 氏

下北支部シリーズ例会 トラブル回避！ 気をつけたいハラスメント



◆講師◆

石戸社会保険労務士事務所
所長 石戸 大 氏 (青森支部)

(2023/6/27 参加 8 名)

★★★ 感想文 ★★★

今回の例会に参加して、あらためてハラスメントについて色々と考えさせられました。

まず、ハラスメントの種類の多さ、従来の考え方では訴訟になった場合に対応できないこと、多様性を重視しなければいけないこと、職種や会社の規模にかかわらず、職場における働く環境を、ストレスなく、職務に専念できる様に整えなければいけないと思いました。また、私の属する建設業界は常に危険性が高く、多くの職種が集まっている作業になるため、言葉遣いが乱暴になりがちですが、だからこそ、より一層この問題に真剣に対応するべきだと思いました。

注意や指導をする際には、言い方はもちろんの事ですが、相手のモチベーションを上げるようにすることが大事だと思いました。同時に、一人ひとりの能力や性格を把握しておく事の難しさを実感していますが、人材確保のためにも、経営者として率先して実践していきたいと思いました。

記/ (株)丹内土木 代表取締役 丹内 美知子 氏

青森支部ガイダンス インボイスと改正電帳法 何が変わって 何をしなければならないか？



◆講師◆

税理士法人 NAVIS

税理士 櫻田 守 氏 (青森支部)

(2023/7/11 参加 11 名)

★★★ 感想文 ★★★

「営業職なので”インボイス制度”は必要ない!!」ではありませんでした。「インボイス」とは商業取引を行う全ての人が理解していなければならないものでした。難しいという感想もありましたが、とてもためになる内容だと感じました。特にこのインボイス制度は適格請求書または適格領収書、適格納品書のどれかひとつに適合していれば良いというものでした。それと取引先がインボイス制度未登録事業者だった場合は双方合意の上で交渉できるということでした。

電子帳簿保存法については理解不足なところも



ありましたが、メリットとデメリットの説明、緩和と強化についても熱心に説明していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

記/ (株)青工 常務取締役 工藤 光治 氏

↓ 青森支部 6 月例会 (2023. 6. 23 参加 36 名) ↓





(株)太陽不動産 代表取締役 櫻庭 敬子 氏

私は第4分科会、香川同友会の(株)コスモ不動産の社長と社員さんの報告をききました。

当社と同業でもあり、とても関心がありました。売買から賃貸業にシフトすることで女性社員さんが6割になり、管理業務に注力したため安定した売り上げが見込めるようになったことや、耕作放棄地をまとめて購入し農業法人を立ち上げて規格外の野菜を子供食堂へ提供するなどの支援活動に取り組んでいるということでした。毎年、高校生・大学生のインターンシップ受け入れや、出前授業を通じて社員さんのモチベーションアップにもつながっているそうです。

同社は全国賃貸甲子園という契約件数や売り上げを競う大会でMVP新人賞を受賞したそうで、空き家・空き地の利活用の取り組みに関する女性社員のアイデアが認められたといいます。

また、外部の人事評価制度を利用して社員さんの働きやすい環境づくりに役立てており、従業員さんが30人もいる会社なのに社長との距離が近く何でも話せる空気感を保っていることに感銘を受けました。女性の優遇が目立ちがちですが、男性社員の育休取得率100%というのも素晴らしい取り組みだと思いました。有言実行されている社長の努力とそれに応えている社員さんの心が繋がっているということに感動しました。わが社でも少しずつ採り入れていきたいと思います。不動産業の今までのくくりを取っ払って関連業務が無限に広がっていることも実感しました。

やっぱり会場で会えるのは嬉しく楽しく満足です。来年の女全交はもっとたくさんの人と喜びを分かち合いたいと思います。

参加感想文

(株)アイティワーク 取締役 岡本 信也 氏

大会参加で感じた「会話」の大切さ

ある日、八戸で女性経営者全国交流会の実行委員長の中原亜希子さんとばったりお会いして直接会話した事がきっかけで、参加することになりました。

あまり馴染みがなく、参加してよいものか当初は戸惑いながらも、いつもと違う行動が気づきに繋がると思い、初めて参加させていただきました。

同友会らしく、随所に学べる環境や仕組みが整えられていて、分科会・基調講演と大変多くの学びを得ることができました。

また何より、3泊4日を通して一緒に行動した会員の皆さまとの会話の中に様々なヒントがあって、身近な会話にこそ価値があると感じました。

この度は参加させていただき、誠にありがとうございました。





《《 参加者感想文 》》

➤ (株)イデアライフ IFA 営業責任者 野月 博至 氏

第4回東北青年経営者フォーラムin福島に参加させていただきました。同友会で他県に伺うことは初めてだったのですが、とても有意義な時間を過ごすことができ、とても良い刺激になりました。

東北の他県の方々の熱量もさることながら、東北以外から駆けつけていただいた方々の熱量もとても凄かったです。色々な方々と交流でき、お話を聞け、より学びを深めることが出来ました。

➤ (株)大坂組 取締役副社長 大坂 将史 氏

今回、渡邊さんの報告とグループ討論を通じてたくさんの気づきがありました。

ポイントとして「目的と役割を伝えないと主体的には動かない」「お互いの価値観を知ることが関係づくりの第一歩」「掲げた以上はやりきる(経営者の覚悟)」があり、社員の自主性・主体性を発揮できる、チャレンジ・失敗ができる、気になることがあったとき話せる会社づくりが大切であると報告していらっしゃいました。自社に置き換えたときに、お互いの価値観を知る機会がまだ少ないと感じました。

同じグループ内でも同友会で実施しているグループ討論を会社の中に取り入れている方も多く、社員のことを知る機会を作るべきだと再認識しました。社員数の関係もあり、全体での実施が難しいところもありますが、年代や部署ごとで少人数からでも始めていきチャレンジすることが必要だと感じました。



➤ プロジェクトおおわに事業協同組合

常務理事 渋谷 敏志 氏

はじめての県外行事に参加して

今回報告された宮城同友会 和光技研工業(有) 渡邊琢也社長は、昨年度経営指針を創る会を受講し、今年から社内でいろいろと実践されている中で最も注力していることは、社員との関わり方が大切だとお話されました。

私は現在、経営指針を創る会を受講中で同じく社員との関りがとても重要だと感じており、社員に対して思いやりの心を持ち、感謝を伝え、笑顔で接することが大切だと、今回の報告で改めて実感しました。

その後のグループ討論でも、社員の自主性を高めるためにはどうしたらよいか、共に笑顔でいい会社にするには何が大切か。同じ悩みを抱えた経営者の方々から多くの気づきをいただき、早速自社でも生かしたいと思いました。

同年代の若い経営者の方々からの熱量に圧倒されましたが、私もみんなに負けない良い経営者になれるよう、引き続き同友会で学び、第20期経営指針を創る会を無事に修了します。



第2回青年部会総会

(2023/7/19 参加 43 名)



▶青森県中小企業家同友会 主任 松田 康太郎

全国から約100名が参加した東北青年経営者フォーラム in 福島。今年は東北以外にも長野、岐阜、広島からも参加者があり、若者経営者の熱さと勢いに圧倒されました。

俺が正しい！全部自分で出来る！と思っていた報告者の渡邊氏。経営指針を受講する事で、社員さんとの関係や「目的、責任、ルール」の見直しを行い、社員さんが自主性、主体性を発揮できる会社づくりに取り組んでいます。渡邊氏から、お互いの価値観を知る事が関係づくりの第一歩だという事を学びました。

グループ討論ではどのテーブルも白熱した討論が交わされていました。良い会社とはどんな会社なのか。そのために自分は何をするのか。100分のグループ討論もあっという間の時間でした。





===== 感想文 =====

➤ 高橋電気工業(株) 代表取締役 高橋 浩之 氏

中同協定時総会へ、相馬さんの13分科会目当に参加しました。疲弊した大鰐町に活気を取り戻す為の活動を、具体的事例を交えつつお話し頂きました。社員の成長支援や、新規の事業形態にも応用できそうな話もあり、普段おっとり優しい相馬さんの情熱的な部分が垣間見えました。その後の交流会～埼玉の夜も、同じGだった滋賀同友会の方や9か月ぶりに再会した宮城の仲間とも交流でき、とても熱く深く意義深い一日となりました。



➤ 鈴木建設工業(株) 取締役総務部長 附田 郁子 氏

報告者、日下様のお話は分かりやすく、過去から現在にかけての金融行政の転換についての報告でした。債権分類基準に基づき安定性情報重視から事業性評価（人的資産・構造資産・関係資産）へと変化しているとのことでした。そこにはバランスシートに現れない多くの資産の存在がポイントになっているとのことでした。

討論グループは7名のうち5名が弁護士、税理士さん達で金融庁の変容が、地銀にまで行き届いているのか？決算書が重視されることは、即ち数字が評価され

るのでは？など熱い討論が交わされました。相手（金融機関）に変化を与えるためにも私達（企業）が行動しなくてはならない事。それは知的資産経営の未来のため、企業を軸とし、企業の知的財産の共通理解を、会計人（第三者）や金融機関との相互信頼関係と共に築くことが大事だと学びました。経営者は夢、正直、第三者と話されていた事が印象的でした。



7月理事会報告

於：事務局 2023.7.5(水)

1) 年度方針の確認

- 青森同友会2023 年度重点活動方針
- 青森同友会 3 カ年ビジョン(2023～2025)

2) 報告事項

- 青森同友会の各支部・全県事業と全国行事について
- 第20期経営指針を創る会について

3) 審議・確認事項

- 第22回経営研究集会について
- 中同協第55回定時総会について
- 青年部会第2回総会について
- 年度会勢目標に向けての取り組みについて
- 各支部、委員会からの報告

会員数 413 名／入会 2 社 退会 0 社

【次回開催日】2023 年 8 月 2 日(水) 13:30～/事務局

